令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

団体名

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大分市役所			代表者名	大分市長 足立 信也
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部情報政策課	連絡先電話番号	097-537-5606
担当者役職	主査	担当者氏名	森永 貴博	連絡先E-mail	
住所	870-8504 大分県大分市荷揚町2番31号				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

		Æ110700PB			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	トップセミナー	事業名	DX推進に係る人材育成事業		
概要	DX推進のための機運の醸成やDXに関する知識を習得するとともに、今後DXを推進していくための次のステップとして必要な内容について、市長、副市長などの幹部職員や課長などの管理職を対象とした講演会を開催する。				
支援を求める	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) その他				
分野					

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	310	令和6年12月23日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月15日	講演(実地)	8時30分	16時00分	60
				活動時間(分)	390
2-2.	会場名	大分市役所別館6階多目的大会議室		最寄駅	大分駅
派遣場所	所在地	大分市荷揚町2番31号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

∠IX C ∠: / / C / 1			
アドバイザー	庄司 昌彦		
評価	大変よい		
上記評価の理由 (どのようなと ころがよかった か等詳細に)	午前中に1時間の若手職員との意見交換会を2回実であったが、それぞれの職員の立場に応じた説明であったが、それぞれの職員の立場に応じた説明で	が他し、午後に幹部職員向けの研修を行っていただいた。異なる対象が参加 としていただいた。	
アドバイザー への要望事項	3日目(1月以降)にフォローアップを実施していただく予定ですので、引き続きお願いします。		

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	154人
属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	154	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	令和3年4月に情報政策課に「ICT推進室」を設置し、業務のデジタル化の推進、市民の利便性の向上、行政事務の効率化を図っている。また、民間経験者の採用や、専門のICTコンサルタントの活用により、デジタル人材の確保に努めている。また定義した10個のデジタル人材像に沿って、動画視聴やeラーニングを実施するなど、人材育成に取り組んでいる。これまで各所属に1名設置していたデジタル推進員に加え、今年度から新たに、各部局にDX統括担当及びDX推進担当を1名ずつ設置し、DX推進体制の強化を図ったところである。課題については、職員によってIT知識にバラツキがある点や、3~5年単位での人事異動によりスペシャリストが育ちづらい点がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DX推進のための機運の醸成やDXに関する知識を習得するとともに、今後DXを推進していくために必要な内容などについて学ぶことで、現在策定中の(仮称)大分市DX推進計画の各個別施策を着実に推進し、最終的には、医療や介護、子育て、救急救命など、大分市民の暮らしをあらゆる面でより良い方向に変革していくDXを実現させる。	

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前中に1時間の若手職員との意見交換会を2回実施し、午後に幹部職員向けの研修を行っていただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	市長、副市長他幹部職員のDXに対する意識改革ができ、DXの推進につながった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 (⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 本講演会により、幹部職員のDXに対する機運が向上したため、今後は講演会で得た知識を生かし、 当市のDXの推進に努めてもらう。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 12月26日に1月10日期限でアンケートを発出しており、集計できていない。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 各所属にてDX重点事業を予算化し、次年度より推進していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	講演会で学んだことを各部署で生かし、各所属でそれぞれDX推進をする。

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。







